

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後 平成 21 年 5 月 19 日 作成
 20年度決算把握後 平成 21 年 5 月 20 日 作成

事務事業名		二子上2号線・3号線改良事業			<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	1	人々が、安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	都市建設部	課長名 上原 哲也
	施策	5	道路ネットワークの充実		所属課	建設課	担当者名 府内 貴生
	基本事業	13	計画的な道路の整備		所属班	工務班	(内線) 2275
					法令根拠		

予算科目	会計	1	款	8	項	2	目	3	事業連番	10097	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	6	
														コスト削減優先度評価結果	9

事業期間 単年度のみ 単年度繰返(開始年度 年度) 期間限定複数年度 (18 ~ 22 年度)

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】
 県道住吉熊本線と二子上1号線を接続する道路であるが、未舗装(一部舗装済)で狭小であり車の離合も出来ない状態であるため、道路を拡幅することにより地域の利便性を高め、安全性を確保する事業である。

【業務の流れ】
 17年度 ①地域より要望を受け、②現況の把握により必要性を検討
 18年度～③関係機関との協議、④道路改良測量設計業務委託、及び検査等
 19年度～22年度⑤地域住民への説明会、⑥用地買収、⑦道路改良工事、及び検査等

【主な予算費目】
 1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 地権者交渉等	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 関係機関との協議		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) → ア:測量延長 m イ:改良工事延長 m	
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 二子上2号線道路 二子上3号線道路		⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) → ア:全延長 m イ:	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 道路が拡幅されることにより、通行車両が安全・快適に移動できるようにする。		⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) → ア:整備率 % イ:	
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 土地利用に合った道路網が整備される		⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) → ア:整備済延長/計画延長×100 % イ:	

(2) 総事業費・指標等の推移											
		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 18 ~ 22 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト (期間 限定 複数 年度 のみ 記載) 22 年度	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円	4,500	0	2,800	0	4,700	14,250		23,450
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計		千円	4,750	0	3,000	0	5,000	15,000		24,750
	うち指定経費		千円	0	0	0	0	0	0		0
	うち時間外、特殊勤務手当		千円	0	0	0	0	0	0		0
	人件費		人	1	1	2	6	3	3		8
	延べ業務時間		時間	280	50	280	309	560	560		1,170
(B)人件費計		千円	1,112	199	1,114	1,230	2,229	2,229	4,657		
トータルコスト(A)+(B)		千円	5,862	199	4,114	1,230	7,229	17,229	29,407		
活動指標		ア: m イ: m	390 0	0 0	0 0	0 0	0 0	0 293	0		
対象指標		ア: m イ: m	390	390	390	390	390	390	390		
成果指標		ア: % イ: %	10	10	10	10	20	100	100		
上位成果指標		ア: % イ: %	15	23	45	45	70	100	100		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?
 二子上2号線・3号線は未舗装(一部舗装済)で、道路幅が狭く車の離合が困難である。
 平成17年の沿線地権者からの要望により必要性の検討の結果、平成18年度から事業開始となった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 変化なし。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 地権者からの道路整備の要望がある。

事務事業名	二子上2号線・3号線改良事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	----------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) *原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 道路改良は、道路利用者・通行車両の安心安全な通行を確保することになり、安心安全な道づくりに結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 本路線は市道であり、安全かつ快適な通行を測ることは市の義務であるため妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 道路改良は、通行車両等において必要不可欠な事業であり、施行後は安全安心に移動できる手段として利用されるため、意図も適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 成果は事業が完成しないと発揮できない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 改良を行わなければ、安全な通行に支障をきたすため、事業を廃止・休止することは地域の活性化を阻害することとなる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 市道改良においては、庁舎内でも建設課のみ施工しており類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 工事積算等において、リサイクル法等の適用によりコスト縮減に努め経済比較を行いながら単価等の決定を行っているため余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 本事業は、積算業務等、外部に委託することで入札等に支障をきたす恐れがあるため、必要最小限度内において職員を分担している。よって正職員以外の職員は担当できない。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 市道の整備であるため、道路管理者が受益者負担を別途求めることはできない。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	①目的妥当性については、…。 ②有効性については、…。 ③効率性については、…。 ④公平性については、…。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)…複数選択可 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 今後は用地買収及び改良工事を進めていき、事業完了を目標にしなければならないが、用地交渉が難航する恐れもあるので計画的に用地買収を行う必要がある。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上			○																				
	維持																							
	低下																							

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策
 道路用地の買収にあたって地権者との用地交渉の際、難航する可能性がある。
 道路用地がなければ、改良工事ができないので計画的に用地買収をすることが重要。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	(直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9)
(2) 貢献度	12	(貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12)